

# 【ラダー図】

プロジェクト名 : Rain  
 プログラム名 : Count\_Rain

- CLK : 計測単位時間クロック
- C\_Ring : 雨量計カウント
- NUM : リングバッファの数
- RING : リングバッファの添え字
- DMO00 : 総雨量
- @FM000~179 : リングバッファ

00001

Initial

00002

#0  
CALL

00003

■ 周期 1 分クロック

CLK

00004

#600  
T CLK

00005

■ 雨量計 カウント

00006

- 雨量計の立上りで雨量計カウンタをインクリします。
- このカウンタは単位時間(1分)ごとにクリアします。

R007

00007

Rain.  
gauge

C\_Rain  
INC

00008

■ 総雨量 積算

00009

- リングバッファの添え字をインクリメント。
- 添え字は単位時間毎(1分)に1ずつ増え0⇒カウンタ個数-1⇒0...で循環します。
- 今回は1分毎に積算雨量カウンタを更新しますので、3時間で180分。リングバッファは180個必要です。
- その添え字でカウンタのアドレスを修飾します。

CLK

00010

RING LDA [ EXT ] NUM DIV TM1 LDA RING STA Z1 STA RING INC

00011

- 総雨量から1番古い単位時間の雨量を引きます。(3時間前の1分ぶん)

CLK

00012

DMO LDA @FM0:Z1 SUB DMO STA  
 総Count Ring. Buffer 総Count

00013

- 最新1分ぶんの雨量を最新のバッファに入れ、総雨量に加えます。
- 単位時間雨量カウンタを初期化します。
- 1分更新, 過去3時間の総雨量がDM000です。

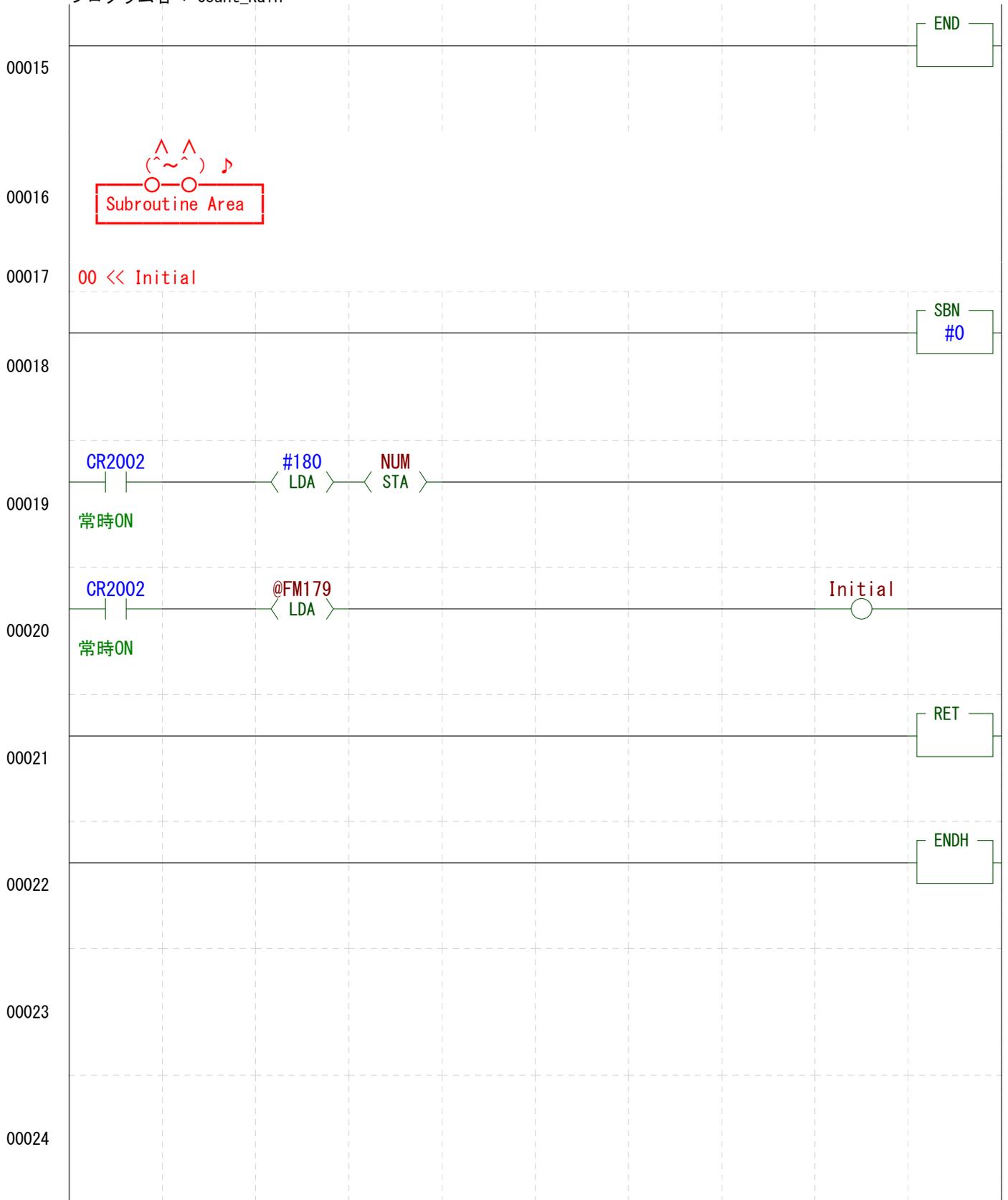
CLK

00014

C\_Rain LDA @FM0:Z1 STA DMO ADD DMO STA #0 DW C\_Rain  
 Ring. Buffer 総Count 総Count

【ラダー図】

プロジェクト名 : Rain  
 プログラム名 : Count\_Rain

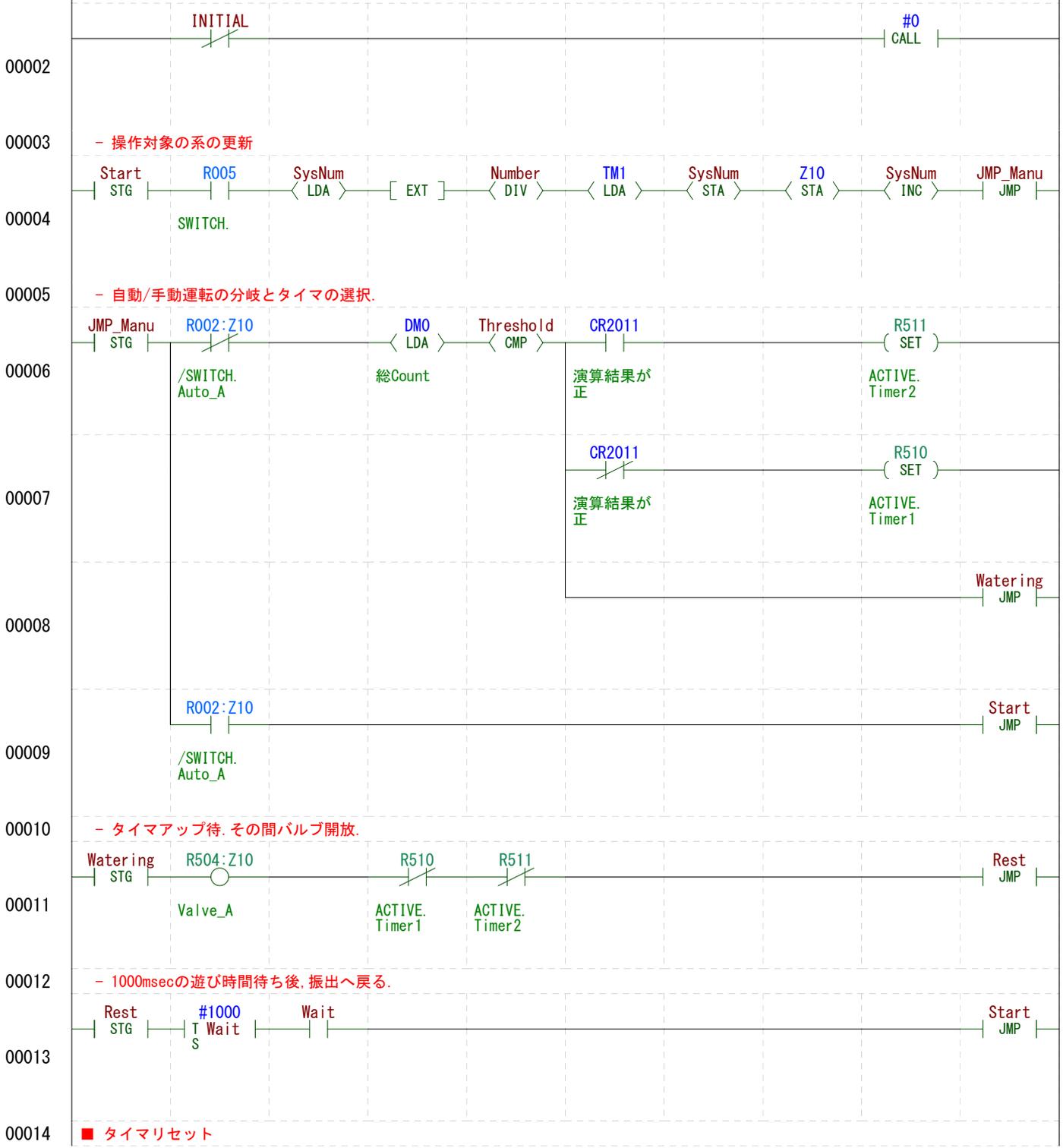


### 【ラダー図】

プロジェクト名 : Rain  
 プログラム名 : Main

- SysNum : 現在修理中の系の番号 (A~Cが0~2に対応)
- Number : 系の数 (3)
- Threshold : T1/T2 の切替しきい値 (0.5mm/Pulseなので6Pulse/3mm)
- DM000 : 総雨量

- 00001 • R000/R001 : T1/T2 タイマアップ信号
- R510/R511 : T1/T2 タイマ駆動信号
- R002~ : 自動/手動 切替スイッチ (系A~C)
- R504~ : バルブ開信号 (系A~C)



# 【ラダー図】

プロジェクト名 : Rain  
 プログラム名 : Main

